

平成24年度施策評価(二次評価)シート (平成21年度～平成23年度の取り組みについて)

《健康領域:人の健康》【基本目標 1 : 一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち】

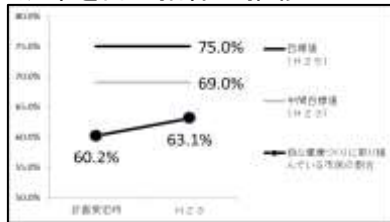
個別目標 1-1 「心身の健康を維持・増進する」

一人ひとりが健康を意識し、健康づくりに取り組み、身体・心の健康が維持・増進される環境をつくります。

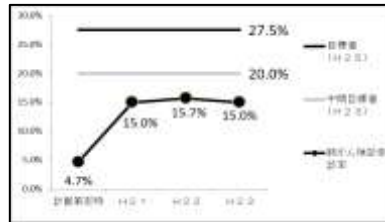
めざす成果 1-1-1「市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる」

市民一人ひとりが健康診断や各種検診を受診することにより、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。

成果を計る指標の推移



自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合



肺がん検診受診率

めざす成果に対する一次評価(転載)

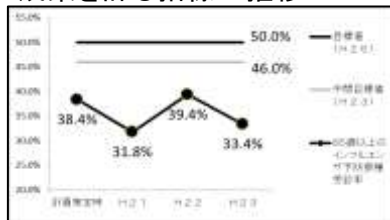
・これまで、市民の健康づくり活動を活発にするため、市民への意識啓発事業や、各種団体等への支援策に取り組んできました。その結果、事業等が定着し、健康づくりに対する市民の関心が高まり、しいては、地域全体へ広がってきたものと考えられます。

・健康診査、がん検診については、平成20年度以降、受診の利便性を改善したことで、格段に受診率が向上しましたが、その後は、停滞が続いています。健康づくりに対する市民の関心が高まっている中で、今後、健康づくりの重要性をより多くの市民に理解してもらうことや、未受診者が受診しやすいさらなる環境づくりが必要であり、特に子育て世代の女性について対策を講じる必要があります。

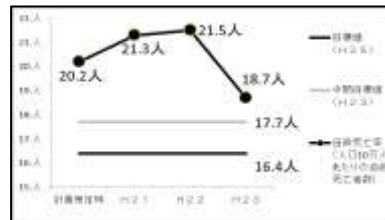
めざす成果 1-1-2 「心身の健康を維持するための体制が整っている」

感染症、食中毒の予防対策や効果的な自殺対策の実施などによって、心身の健康が維持されています。

成果を計る指標の推移



65歳以上のインフルエンザ予防接種受診率



自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺死亡者数)

めざす成果に対する一次評価(転載)

・心身の健康を維持するための取り組みについては、この3年間で予算の面からも重点的に進めており、近隣市に比しても充実した状況になったものと考えます。

・しかしながら、本来は体制の充実が目的ではなく、数的な充実もさることながら、提供すべき内容が重要であるため、今後は、具体的な取り組みに工夫を重ねていきます。

個別目標に対する評価 (総合計画審議会記入欄)

心身の健康に対する市民一人ひとりの意識は年々高まりを見せていますが、各種検診や予防接種等の受診率をみると、健康増進に対する積極的かつ具体的な取り組みまでには至っていないことがわかります。今後は、サービス提供の環境をさらに高めるとともに、さらなるPRによって多くの市民にサービスの利用を促すことが重要ではないかと思われます。